

第15回市議会定例会

一般会計総額で5,376万2千円の補正予算を可決
沼ノ端交流センターの指定管理者の指定についても可決

第15回市議会定例会は、6月7日（木）から6月15日（金）まで開かれ、報告8件、議案23件、諮問1件、要望意見書3件などの審議が行われました。

一般質問では7党派20人の議員より質問があり、JR、市営住宅、福祉施策、高齢者対策、防災・防犯カメラ対策、教育行政、(仮称)市民ホール、IR（カジノを含む統合型リゾート）などについて議論が行われました。

また、各常任・特別委員会では、苫小牧駒澤大学、旧トマモール石綿除去に係る作業停止命令、苫小牧市科学センターのあり方、市営住宅熱供給管に係るアスベスト、苫小牧国際リゾート構想、(仮称)市民ホールの整備手法検討と進め方についてなど質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

◆報告

一般会計の平成29年度・平成30年度の継続事業で実施している沼ノ端交流センター整備事業ほか3事業の平成29年度予算現額の一部を30年度へ繰越し、平成29年度一般会計補正予算で追加した繰越明許費の住宅改善事業ほか8事業について30年度へ繰越すことが報告されました。また、水道事業会計では平成29年度予算に係る「下水道築造工事」「勇払下水処理センター中央監視・動力設備更新工事」に要する経費を30年度へ繰越し、市立病院事業会計に係る「医局棟増築事業」に要する経費を30年度へ繰越すことが報告されました。

そのほか、地方税法の一部改正に伴い国民健康保険税及び固定資産税等の関係規定を整備する、苫小牧市税条例の一部改正の専決処分、市営住宅の明渡しと滞納家賃等の支払いを求める訴えの提起、出資法人等の経営状況が報告されました。

◆議案

(平成30年度補正予算等)

沼ノ端交流センター指定管理費の債務負担行為、2,521万6千円、10月1日から見込まれる生活扶助基準額等の見直しに伴うための生活保護システム改修事業費194万4千円、昨年5月に苫小牧西港沖合いを漂流していた木造船舶の解体・処分として海岸漂着物等処理作業経費122万1千円、現行システムのメーカー保守終了に伴い、システムの更新を行うための人事給与システム事業費の増額補正が原案どおり可決されました。

(条例の一部改正)

特殊勤務手当のうち深夜看護手当の額を引き上げるため「苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例」、中小事業者等が先端設備等を取得した場合の固定資産税の課税標準を定めるため「苫小牧市税条例」、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

の改正に伴う「苫小牧市福祉ふれあいセンター条例」、医療費の助成に係る事務を委託できる法人を追加するため「苫小牧市重度心身障害者医療費助成条例等」、介護保険法施行令の改正に伴い「苫小牧市介護保険条例」の一部改正について原案どおり可決されました。

また、沼ノ端交流センターを管理する指定管理の指定についても原案どおり可決されました。

(契約の締結等)

地方自治法及び条例の規定による一般競争入札で、ウトナイ中学校校舎新築主体工事、屋内運動場新築主体工事及び校舎新築機械設備工事、総額18億5,479万2千円、緑小学校校舎改築主体工事、屋内運動場改築主体工事及び校舎改築機械設備工事、総額17億8,394万4千円、沼ノ端第2埋立処分場造成工事及び浸出水処理施設建設工事、総額11億4,685万2千円、啓北中学校校舎改築1期主体工事6億3,720万円、錦岡小学校校舎増築主体工事及び校舎大規模改造主体工事、総額6億1,700万4千円、北光小学校校舎大規模改造主体工事2億4,105万6千円、緑ヶ丘公園サッカー場改修工事1億7,679万6千円、沼ノ端交流センター外構整備工事1億7,172万円、大成町市営住宅(1-14-3)東面外部等改修主体工事2億2,345万2千円の契約の締結について、原案どおり可決されました。

また、消防ポンプ自動車CD-1型3,283万2千円の動産の取得について原案どおり可決されました。

◆諮問

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、新たに松平定明氏、岡部敦子氏を推薦することに同意しました。

◆意見書

「旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める要望意見書」、「2018年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書」「2019年度地方財政の充実・強化を求める要望意見書」の3件が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。